

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 幸

**目標達成計画書**

作成日: 令和 4 年 3 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	コロナ禍の為、書面での報告となっている。コロナ収束後の再開に備えて各委員との関係を継続し、参加委員の増員を図り、ホームの運営だけでなく、地域の困りごとにも一緒に取り組んでいけるような会議を目指していく。	元家族や地域住民、他グループホーム管理者等、委員の増員を図り、テーマを決めてミニ勉強会を行ったり、レクリエーションを一緒に行う等して関係を深め、多様な意見や提案が集まる活発な会議運営に取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回避難訓練を行なっているが、夜間は職員が1名となる為、非常時に職員が冷静に行動できるかが不安である。今後は夜間想定訓練を頻繁に行える体制を整え、職員一人ひとりの意識と技術を高めていく。	職員が、職員と利用者役に分かれ、避難場所を特定し、目標タイムを設定して夜間想定訓練を行い、夜勤者が自信をつけるまで繰り返し訓練し、利用者が安全に避難場所で待機できる体制を整えていく。また、近隣住民や近くに住む職員との協力体制の確認も定期的に行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。